

事業評価書

補助事業名	岩手山中演習場関連特定事業 (教育、スポーツ及び文化に関する事業:大更コミュニティセンター等管理運営事業)						
補助事業者名	八幡平市長 佐々木 孝弘						
実施場所	岩手県八幡平市西根・松尾地区						
補助事業の 成果の目標	岩手県八幡平市では、市民の自主的な学習活動の推進、社会教育に関する事業の実施及び市民の主体的な地域活動の拠点として、八幡平市立コミュニティセンターを運営している。現在市内では12か所のコミュニティセンターを運営しているが、画一的な事業ではなく各地域の実情に即した事業を実施するため指定管理にて施設を運営している。 コミュニティセンターでは市民、自治会、スポーツ少年団等に会議室や体育館を貸し出すほか、市民向けのイベントを運営するなど多くの市民、団体が利用する、地域の振興において欠かせない存在であり、今後も施設を継続して運営していくことで、市民の教育、スポーツ及び文化の振興を図っていくものである。						
補助事業の内容	コミュニティセンターの管理運営及び市民の自主的な学習活動の推進、社会教育に関する事業の実施						
補助事業の 始期及び終期	令和7年7月1日から令和8年2月28日						
事業費及び交付金額		令和7年度					計
	事業費	円 48,769,000	円	円	円	円	円 48,769,000
	交付金額	41,480,000					41,480,000
補助事業の成果及び 評価並びに地域住民 への周知の実施状況	【成果及び評価】 補助事業の成果を確認するため、施設の利用状況等の確認及び利用者に対するアンケート調査を以下のとおり行った。 (1) 各施設の利用状況等を以下のとおり確認した。 各コミュニティセンターからの収支調書その他の報告書により維持管理に関する支出が適切に行われていることを確認した。また、令和6年度の5施設合計の利用者数は84,493人であったのに対し、令和7年度は99,296人であり、利用者数の増加を確認した。 (2) 利用者に対するアンケート調査の結果は以下のとおりであった。 職員の態度は、「よい」が73%、「おおむねよい」が17%、「普通」が10%となり、良好と捉えられる。 施設の様子としては、清潔さは「よい」が83%、「おおむねよい」が12%、「普通」が5%、案内表示は「よい」が75%、「おおむねよい」が16%、「普通」が9%であり、良好と捉えられる。 情報入手は、「よい」が65%、「おおむねよい」が16%、「普通」が19%、手続きについては、「よい」が72%、「おおむねよい」が14%、「普通」が14%となり、良好と捉えられる。 コミュニティ活動の活発さについては、「とても活発である」が32%、「ある程度活発である」が44%と活動の活発さについても良好と捉えられる。 以上により、各コミュニティセンターにおいて、地域の実情に基づいた適切な施設の管理運営及び、地域に密着した積極的な教育、スポーツ及び文化活動の実施を確認でき、結果として5施設における令和7年度の総利用者数が対前年度比で約18%増加するなど利用促進が図られたことから、本事業の成果目標は達成されたと評価する。 【地域住民への周知の実施状況】 施設にエンブレムを表示するとともに、市ホームページに特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用して本事業を実施した旨を掲載し、地域住民への周知を行った。						
事業の改善策及び 今後の対応	引き続き、コミュニティセンターの管理運営及び地域住民の自主的な学習活動の推進、社会教育に関する事業の促進に向けた取り組みを実施する。						
事業評価に際しての 第三者機関の活用の有無	無						